

全国に広がる弊社営業ネットワークを活かして、日本各地の商品をご紹介します！

ご当地商品情報



市場のニーズからデザインを考案
ターゲットへピンポイントに届けます

長野県にある2つの酒蔵から、新しいブレンド酒が発売されました。千曲川最上流の酒蔵として千曲川の伏流水で酒を醸す黒澤酒造株式会社と、北アルプスの伏流水と安曇野産契約栽培米を使用した酒造りが特長の大雪渓酒造株式会社様のコラボで生まれた「十和(TOWA)」です。純米吟醸と純米酒の2種類が長野県内のスーパーマーケットを中心に販売されており、多くの方にご自宅で楽しんでいただいています。

弊社はそのネーミングとラベルデザインをお手伝いさせていただきました。商品名の「十和」には、+（プラス）にも見える「十」、互いに違う魅力を持つ黒澤酒造様の「井筒長」と大雪渓酒造様の「大雪渓」が混ざり合い馴染むイメージの「和」を組み合わせ、また「TOWA」という響きは「永遠」にもかけられています。

ラベルデザインは、売り場の様子から方向性を検討。今回は「長野県内のスーパーマーケット」での販売が決まっていたため、利用者に関するデータ収集の結果からメインターゲットを「30代～40代女性」に



▲左・純米吟醸720ml (1,500円・税別)
右・純米酒720ml (1,200円・税別)



◀両端に加えて、タイトル上にも「大雪渓+井筒長」の文字を配置して2酒のブレンドをアピール。

ディレクター's コメント

「十和」の名前は2つの銘酒の調和が新たな広がりを展開し、飲んだ人の中で無限の存在となる様を表現しています。

コンセプト設定や販促はもちろん、ネーミングもおまかせください！



設定しました。また、専門店の客層と比較して、アルコール飲料目当てには来店しないことや、日本酒に対する知識が乏しいということなどの分析結果を踏まえ、ブレンド酒であることを全面に打ち出すより、ラベルデザインで訴求する「ジャケット買い」を狙ったデザインをご提案。日用品や食品の買い物の延長で手に取ってもらいやすく、食卓にも馴染むシンプルかつカジュアルなものにしました。ラベルの両端に2酒の銘柄を入れて既存のファンに向けてもアピールしながら、パステルを活かした色合いでターゲット層の女性も手にとりやすくしています。

今回のように弊社では、商品売り場からイメージしたデザインや販促のお手伝いも可能です。商品企画の際にはぜひ担当営業にご相談ください。

MEMO



アイディア通信やその他のご質問は弊社担当営業
または下記連絡先までお気軽にお問合せください！

弊社既製品情報はこちら！

高桑美術印刷

検索

<https://takakuwa.wave.jp/>